

横山幸次

区政報告
ニュース

699

2018年6月24日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメールアドレス
kouji.office@gmail.com

町屋事務所のメールアドレスを変更しました。
kouji.office@gmail.com
です...

大阪北部地震…直下地震の危険 屋内・屋外の安全対策を急いで



大阪北部をおそったM6・1、最大震度6弱の直下型地震。5名の方がお亡くなりになり、多くの負傷者やライフラインの機能停止など深刻な被害が報告されています。被災されたみなさんへの支援と一刻も早い復旧が求められます。亡くなられた方の原因が、公共施設含むブロック塀の倒壊、家具の転倒だったようです。これらは、事前の対策があれば防ぐことができたはず。今回の地震は、人口密集地域での直下地震の危険を示しています。

家具転倒防止、危険なブロック塀の改善など いまから…身の回り地域での安全対策を

大阪北部を比べて30倍以上のエネルギーであり、甚大な被害が予想されています。燃えない倒れないまちづくりを基本にして、今すぐできる安全対策を行政も各ご家庭でも始めることが必要です。その際、区として助成制度もありますので大いに利用してください。

区施設のブロック塀の点検調査を実施 構造検査など行い必要に応じ改善撤去へ



荒川区では、地震当日に雨の中でしたが、区の公共施設135カ所にあった塀やフェンス122カ所を担当課が目視で点検調査しました。学校は、劣化等は見当たりませんでした。ひろば館や区役所ブロック塀（写真上）等で亀裂がありました。今後図面の確認、赤外線による構造検査など行い、通学路や道路に面している所を優先して対策を進めるとしています。調査に基づき改善や撤去など進めるとしています。

民間のブロック塀などの点検も

同時に、木造密集地域を始め区内各所に古くなったブロック塀などが目につきます。子どもたちの通学路や災害時の避難経路にも見受けられます。建築確認の出ている塀は区としてすぐ調査するとしています。しかしそれ以外にも多くあります。区内全域の安全チェックを行うことが必要ではないでしょうか。



- 世帯全員非課税世帯、障害者手帳もしくは要介護4以上のいる世帯） 上限2万円
- 転倒防止器具購入の場合、工事助成の半額
- （感震ブレイカー設置工事、器具購入補助も） 防災課
- IH調理器等購入費用助成
- 65歳以上一人暮らしまたは高齢者のみ世帯に2分の1助成（上限2万円） 高齢者福祉課
- その他、ブロック塀撤去（道路公園課）、生け垣造成助成（防災まちづくり推進課）もあります。

裏面 女子医大移転問題、道徳教科書...など

定例法律相談会

7月2日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所
8月はお休み
(お急ぎの場合ご連絡下さい)

生活相談は、随時受け付け
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

「あらかわ伝統技術展」(7月6、8日)がまた今年も荒川区になぜ伝統工芸の職人さんが多いのでしょうか？
今年も「あらかわ伝統技術展」(7月6、8日総合スポーツセンター)が迫ってきました。素晴らしい巧みの技が一つ一つに凝縮されています。ところで全都でも伝統工芸だけで展示会を行えるのは荒川区だけのようです。全都屈指の伝統工芸の職人さんが集積する町だからこそです。ではなぜ荒川区なのか。元々江戸時代までは南千住や日暮里の一部を除けば荒川区のほとんどが寛永寺の所領で田園地帯でした。明治以降工場がで

あらかわの伝統技術展
2018.7/6(金)・7/8(日) 10:00～16:00
荒川総合スポーツセンター

区内の医療は

女子医大東医療センター移転問題… 都有地を足立区に売却・7月頃正式契約

都・足立区・女子医大との協議も行い 区内の医療体制・災害拠点病院の確保を

東京女子医大東医療センターの移転計画に対して、行政、区議会とも荒川区区内での診療継続と両区民含めた二次医療圏全体の医療の充実を求めて、この間、取り組みを進めてきました。

今年の見直しで二次医療圏区部東北部は、9,617床から10,077床と460床増加しました。また、実際の病床が110床あまり減少しており、3区全体で570床の増床が可能です。

災害拠点病院の確保は緊急課題

立区が旧都営住宅跡地の売買仮契約を約37億円で締結。現在開会中の足立区議会、東京都議会でも承認されれば、7月には、本契約を結ぶことになり、移転に向けて具体的に動き出すことになりました。

大、足立区との協議を進めることが必要です。女子医大移転のあと、現在の病棟を生かして引き続き、外來や病床を確保することができないか。など、荒川区としての取り組みが問われています。

23区東北部で

460増床が可能
都の二次医療圏毎に病床数が決められています。

荒川区は、足立区・葛飾区とともに「区部東北部」です。

50床が移っても、荒川区での病床確保は可能です。とりわけ全都一災害危険度が高い荒川区として最低限200床以上の災害拠点病院は、絶対に必要です。東京都、女子医



東京女子医科大学東医療センター…移転計画

東京女子医大は、東医療センターを2021年足立区江北に移転するため、18年内に施工者を決め、19年春の着工をめざす。

病院棟は地下1階地上10階建て延べ5万2150平方メートル。病床数は450床。学校・寮棟は8階建・床面積は、看護専門学校2800平方メートル、研修医寮1950平方メートル(56戸)、看護師寮1950平方メートル(56戸)を想定。平置き駐車場約300台分を確保。

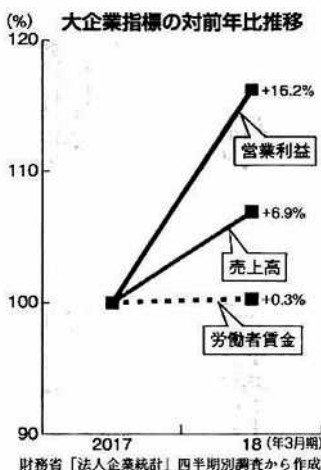
3次救急や地域医療支援病院、災害拠点病院(屋上ヘリポート)、がん診療機能、高度急性期、周産期母子医療センターの機能を設ける。

建設地は足立区江北4ノ22地で敷地面積2万7644平方メートルの都有地。7月に足立区が37億円で買い取る予定。



今週のデータ 大企業・富裕層栄えて「民」疲弊…これでは経済再生などできません

日本経済=GDPの6割が個人消費です。ところが、この個人消費が伸び悩んでいます。一方、大企業は、史上空前の営業利益を上げ、売り上げも上昇し続けています。



ところが労働者の賃金は、ほとんど上昇していません。輸出大企業の営業利益に負うところが大きなでしょう。本来、賃金の引き上げ、個人消費の伸び、实体经济の改善によって景気は、回復するのではないのでしょうか。このままでは、日本の实体经济は細るばかりです。

中学校の道徳教科書の採択が行われます

2019年度から使用する中学校の「道徳」の教科書の採択が行われます。教科書採択まで、教育委員会が、教科書展示、教員・区民の意見を集約、また道徳専門部会(校長・教員)、教科書選定委員会(学識経験者、地域関係者や保護者、学校関係者)に調査依頼を行い報告を受けて採択します。7月27日の教育委員会で8つの教科書の中から1社を選定します。

道徳は他の教科と違い、特定の「答え」に合わせて評価することがあってはなりません。

道徳を教科として子どもたちに教えることは問題アリと考えますが、教科書は子どもたち自由に発想し考えるような教材が指導する教員の自由裁量の幅があるかなどの観点から選んでほしいと思います。教育委員は区民のみなさんの意見も読み、調査研究を行います。ぜひ展示会に行き意見を上げてください。

発行社名	略称	発行社名	略称
日本教科書	日科	日本文教出版	日文
光村図書	光村	東京書籍	東書
学研みらい	学研	教育出版	教出
廣済堂あかつき	あかつき	学校図書	学図

(あかつきと日文は、別冊ノート付きです)

教科書展示会
6月28日(木)まで
9時から17時
土日もやっています。
生涯学習センター3階
教育センター
3802-5720